

保存版その②(=捨てないでとっておくこと) ※むずかしい言葉はお父さん・お母さんに聞いてね。

試合に出なくても勝利に役立てるんだぞ!!

## ランナーコーチはとっても大事!

試合に出るだけが選手じゃない!

1点を取るか・取らないか、アウトになるか・ならないかは、ランナーコーチにかかっています。

↓下書いてあること↓を試合前に「毎回」しっかり読んでチームに貢献(こうけん)しよう!

(→ランナーがいない時→①、いるときは②の位置に立つこと!)

### <最初に1塁・3塁コーチの「両方が」ランナーに声をかける」大事な言葉>

#### ① すぐに「アウトカウント」を言う

ランナーがベースについたら「●●くん、ワンアウトだよ」と確認する。コーチは常にアウトカウントを知っていないといけない。  
理由→アウトカウントによってランナーの動きが違ってくるので。

#### ② 状況を説明したあと→「ベースにつかせて」サインを見させる。(自分もサインを確認するんだよ)

**0アウト・1アウトの場合で「ゴロを打った時」:**→1塁、1・2塁、満塁の時 ・ ゴー(=絶対走る)、ライナー・フライは戻る、という。  
→2塁だけ、2・3塁だけの時 ・ 三遊間の強いゴロはストップ。二・三塁は状況次第  
→1・3塁の時 ・ 1塁ランナーはゴー、  
・ 3塁ランナーは1・2塁方向に飛んだ「弱いゴロ」はゴー、  
三遊間のゴロもゴー(本塁完全アウトならはさまれる!)

**0アウト・1アウトの場合で「フライを打った時」**→浅い(=ホームに近い)フライの時・ハーフウェイ(=塁の真ん中くらいまで来てみる)  
→深い(=外野に飛んだ大きい)フライの時・タッチアップ(=塁に着いて取ったら走る)

**2アウトの場合**→打ったらゴー(=何でも走る)、バットに当たったらゴーという。

ここからは役割が違いますので注意。

#### <1塁コーチ> 1・2塁を担当

- 1・ボールから絶対目を離さず、今、ボールを誰が持っているか“指を差しながら”言う。  
(例:ボール・ピッチャー、ボール・ファーストなど)
- 2・盗塁の時、キャッチャーが投げたら「スライ!」  
投げないかキャッチャーが後ろにそらしたら「ノースライ!」と、叫ぼう!
- 3・ピッチャーからのけんせい球をしっかりみて、戻る時は速く「バック!」という。
- 4・打ったバッターに「かけ抜け」か(=アウトかセーフかギリギリの時)、「オーバーラン」(=次の塁を狙う)のかを早く言う
- 5・↑②の指示をアウトカウントに応じてランナーに聞こえるように大きい声で言う
- 6・ピッチャーとキャッチャーの動きを見て、速い球か、遅い球かを研究する。

#### <3塁コーチ> 2・3塁を担当

##### <打ったバッターが2塁を回ってきた時>

・大きく左手を回し、回るのか、止まるのかを「早く」言う!  
スライディングする場合は「スライ!」、駆け抜ける場合は「ノースライ!」という。

##### <ランナー2塁の時>

・ショートとセカンドの今の位置を早く教える。  
(=センターの位置もしっかり見ておく)  
・ピッチャーからのけんせい球をしっかりみて、戻る時は速く「バック!」という。

・ベースに着かせた後、外野手の位置を確認させる。

##### <ランナー3塁の時>

・タッチアップ・スクイズがあるかもしれない事を「小さい声で」言う。  
・※相手の点数差が少ない場合、無理に突っ込ませないこと!

以上です。

野球はどんどん勉強できるスポーツなので、高校野球やプロ野球を見て自分のものにして、もっと試合を楽しもう!

2015年6月

梅田ヤングスターズ